

MCUD神戸西 II

MCUD kobenishi II

No. 18-020-2023作成

新築

工場・物流施設

発注者	三菱商事都市開発株式会社	カテゴリー				
設計・監理	西松建設株式会社一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	西松建設株式会社 西日本支社	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

環境保全型の物流施設



■概要

「MCUD神戸西 II」は、三菱商事都市開発株式会社が開発する床面積約6万㎡の物流施設である。

神戸テクノ・ロジスティックパーク(神戸複合産業団地)内に位置し、神戸西ICを通して大阪・京都・中国地方などの主要都市へのアクセシビリティに優れた立地であり、周辺には住宅地もあり雇用確保の観点からも良好な土地である。

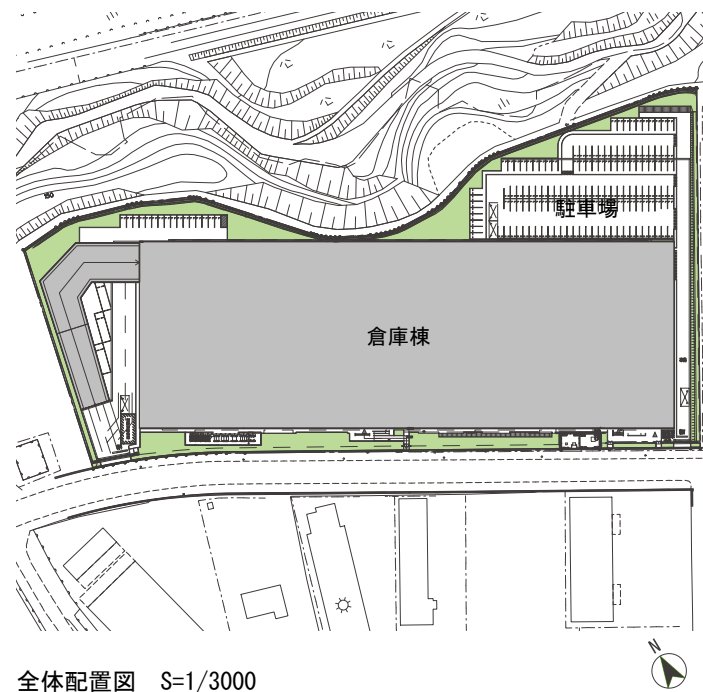
建物は、1・2階に着床可能なスロープ形式であり、荷物用エレベータ及び垂直搬送機にて賃貸区画は最大6区画まで分割可能なマルチテナント型物流施設である。

建物周囲には乗用車及びバイク・自転車置き場を配置し利便性を高めるとともに、大型車と普通車を分離することで安全性に配慮している。

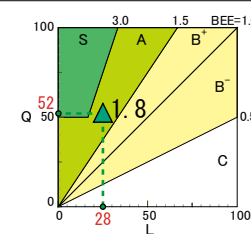
■計画コンセプト

環境配慮として下記項目をコンセプトとして施設計画を行った

- ・周辺環境への配慮
- ・BCP対策
- ・気流解析による効果的な換気計画
- ・エネルギー効率の最適化『ZEB』



建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	兵庫県神戸市	Aランク
竣工年	2023年	BEE=1.8
敷地面積	27,461㎡	2016年度版
延床面積	62,623㎡	第三者認証
構造	S造	
階数	地上4階	
	BEI(通常の計算法) -0.01	
	LCCO ₂ 削減 47%	



■周辺環境への配慮

外装は周辺地域に配慮しシルバー色を基調としている。また、南側の前面道路を中心とした緑化を行い、前面道路側に設置した設備用バルコニーは目隠しを行うことで、産業団地への景観に配慮している。1階の東側には物販店舗を併設することで、周辺地域の住民も利用可能な施設計画としている。敷地内に十分な車両動線を確保し、倉庫への搬入車と一般車の動線を区別することで周辺の交通負荷を軽減するなど、周辺環境に配慮した計画としている。



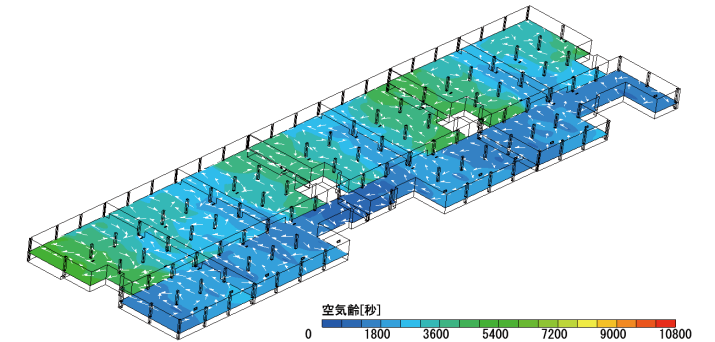
■BCP対策

災害時の対策として、建物周囲の空地を利用しマンホールトイレ及び防災ファニチャーを設置している。受水槽には緊急遮断弁を設けることで災害時の生活用水を確保し一時的な避難場所として利用できる施設とした。



■気流解析による効果的な換気計画

建物の規模が大きくなるほど、空間内での換気のムラが発生する。空気の澱みは湿気溜まりとなり、保管荷物のカビの発生など悪影響を及ぼすため、設計時に気流解析により換気扇やファンの配置検討を行い、空間全体に気流を行きわたらせることで空気澱みの少ない効果的な計画としている。



■エネルギー効率の最適化『ZEB』

外壁は断熱性に優れたサンドウィッチパネルを採用し、屋根材は二重断熱折板とすることで、一次消費エネルギーの削減を図った。全館LED照明の採用、倉庫内に人感センサーを採用することで、消費エネルギーの削減を図った。また、再生可能エネルギーの利用として太陽光発電設備を設置し、最大565kwの電力を賄い、エネルギーコストの削減を図った。エネルギー効率の最適化を図ることで『ZEB』を取得している。



設計担当者

統括：廣瀬智之/建築：稲井智士、山田広大/構造：田仲恒介/設備：猿田俊雄

主要な採用技術(CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出(外構緑化)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用(太陽光発電)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化(センサー制御)